

2018年度 第46回 全労済 小学生

作品コンクール

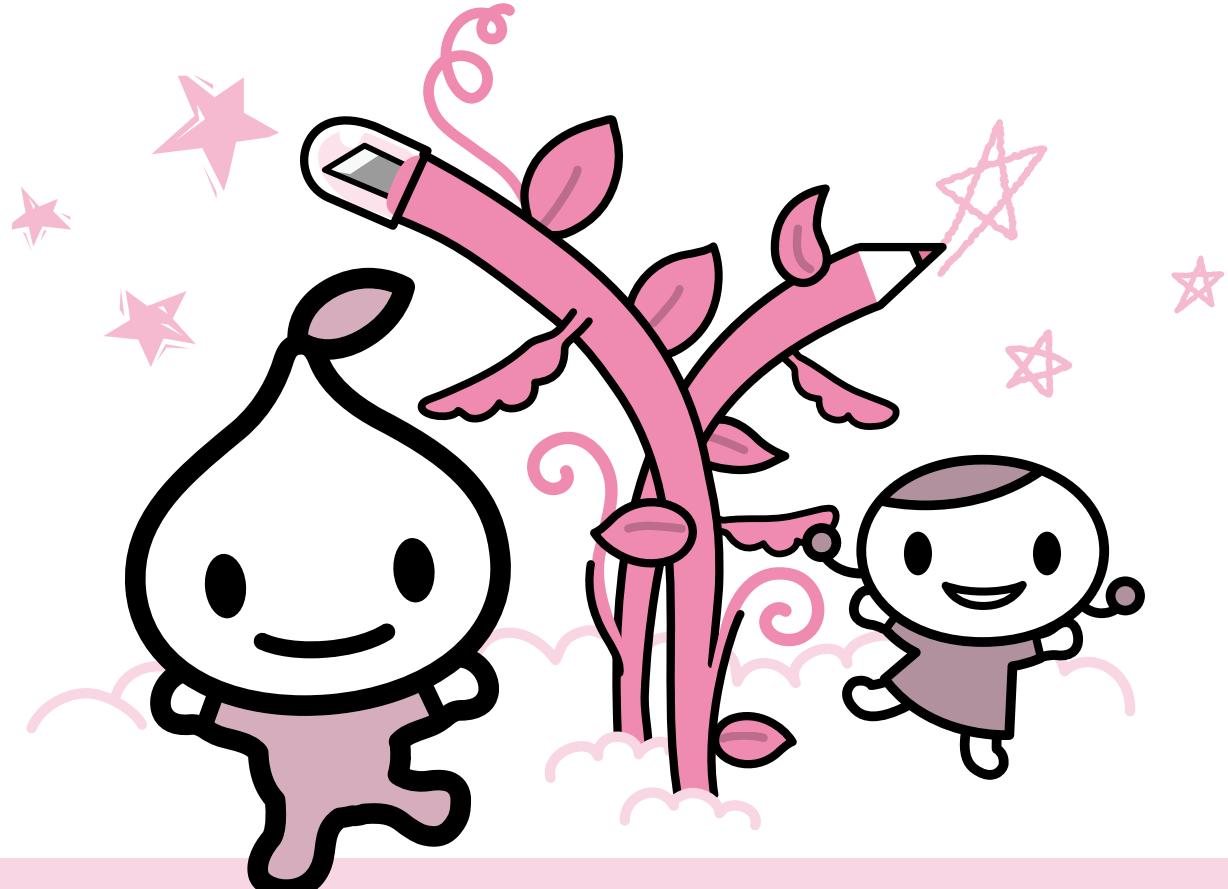
★「作文」と「版画」作品募集のご案内★

締切日

2019年1月11日(金)必着

テーマ

作文
● どきどき・わくわくしたこと
版画
● 自由課題



主催 全労済

子どもたちの元気で素直な作品を楽しみにしています。

全労済は、福利を目的としない生活協同組合として、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざして共済事業を営んでおります。

また、共済事業に加え、豊かで安心できる社会を実現するために、社会貢献活動や教育・文化活動にも取り組んでおります。このコンクールも、今回で46回目（46年目）を迎えることができました。前回の第45回コンクールには、333校の小学校から1万3千点を超える作品応募をいただき、盛大なコンクールとすることができました。これも校長先生はじめ先生方、関係機関の皆さんのご支援・ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

本年も、各都県の教育委員会とNHK各地方局等のご後援をいただき、児童の皆さんからの創意あふれる作品のご応募を心よりお待ちしております。つきましては、児童の皆さんからの創意あふれる作品のご応募をご応募を心よりお待ちしておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

作文の部 「どきどき・わくわくしたこと」



わたしの、 どきどき・わくわく

作家・子どもの本の専門店クレヨンハウス主宰 落合 恵子

毎朝一番にすることは、マグカップを手に小さな庭に出ることだ。カップの中は、紅茶だつたりコーヒー（あなたはまだ飲めませんね）だつたり日本茶になつたり、ハーブティになることもある。時にはスマージーや絞りたてのオレンジジュースの時も。

小さな庭には、長年愛用しているテーブルと椅子がある。そこに座つては、「わたしの庭」をぼーっと眺めているのが、一日の中でもつとも穏やかで幸せなひと時だ。いまは5月。ラベンダーが今年もたくさん花穂をつけてくれている。ラベンダーの紫にあわせて、この季節は、ほかの花々も紫の濃淡にまとめた。西洋マツムシ草は薄い紫の花を、アゲラタムもふわふわ

版画の部 自由課題



心が揺れるということ

NPO法人市民の芸術活動推進委員会理事長 鈴石 弘之

版画にまつわることをどう皆様にお伝えしようかと、呻吟しておりました。今から、四十五年も前のことを思い出しましたので、認めたいと思いつ立ちました。少々恥ずかしいという気持ちをもちあわせながらのことです。图画工作の専科教員として、東京都北区の西ヶ原小学校に赴任して、四、五年経つ頃だつたと想います。六年生に版画を制作してもらおうと考え、試行錯誤の末に、物語教材を取り上げることにしました。取り上げたのは、滝平二郎の絵本『三コ』。絵本を子どもたちに見せると、絵に影響されてしまうと考え、全文をガリ版で制作・印刷の上、読み聞かせることにしました。

全労済関東統括本部

統括本部長

廣田 政巳



※後援につきましては予定も含みます。

した薄紫の花。

ロベリアも薄紫。紫だけだとちょっと重た

くなるので、アクセントとして大ぶりな白い花をつけてく

れる多年草のシャスター・デイジーも。レモングラスやミント、ローズマリー等のハーブ類も元気で茂っててくれている。

いま特に気になるのは、連休に種子を蒔いた朝顔と夕顔の成長だ。まもなく毎朝、「すごい！」と吠えたくなるほどぐいぐいと蔓を伸ばして、あなたが夏休みを迎える頃には、朝顔は透き通った青の、夕顔は純白の花をつけてくれるに違いない。

種子を蒔いて、発芽するまでの数日間（種類によつて一週間以上かかるものもある）の「じきじき・わくわく」は、少し不安も含んだそれである。そしてある朝、蒔き床に、小さな緑色の棘のような、芽を発見。このときの「じきじき・わくわく」はたとえようもない。

この時空がないと、わたしは仕事をほかのいろいろな活動もうまいかないのではないかと思うほどの、「じきじき・わくわく」である。今日はこれから東京を離れて、長野に向かう。それでも、いろいろな人との出会いが、たくさん、「じきじき・わくわく」を連れててくれるに違いない。そこで交わされに違いない、いろいろな会話は帰京してからも、心に響き続けるだろう。

あなたの「じきじき・わくわくした」ことについて、あなたに「じきじき・わくわく」を贈つてくれる人やものについて、聞かせてください。それが何であつても、どんなにささやかに思えることでも、「じきじき・わくわく」のない暮らしは、無色で淋しすぎる。

そうだった。わたしにはまた別の「じきじき・わくわく」がまもなく始まるのだ。数か月後に、あなたが書いた作品に出会えるという。

ちょうど今頃があなたの作品にとって、種子まきの季節かもしれない。発芽したら、しつかり水やりをして、お陽さまの光に当てて、ひとつ的作品を書き上げてください。「じきじき・わくわく」しながら、待っています！

二コは秋田の山の子ども。だいだらぼつちのようない巨人です。おいだら山が山火事になるのです。

困ったとなげているのを聞いて、三コは、おいだら山に木を植えればいいと提案します。そして、秋田の山々を駆け巡つて木をひきぬき、おいだら山に植え付けます。次男坊・三男坊たちは、木こりの仕事で生計をたてるこ

とができるようになります。

ところがあるとき、おいだら山が山火事になるのです。思案にくれた二コは、燃えるおいだら山に覆い被さり、火を消してあげます。二コは死覚悟の上の行為でした。

読み聞かせをしながら、クライマックスでは、私も高揚して読みあげたのでしょうか。S君が涙を流して聞き入つていたのです。思わず、私もぐっときてしましました。

木版画に仕上げてもらうための準備にたっぷりと時間を開けてのことだつたためでしようか、よい作品が沢山生まれたと自負しています。

想像・空想など、構想画の指導に当たる場合には、当然のように、言葉（文字や活字、話し言葉）が重要な内容になると私は思います。教師である私が想像を膨らませて伝える言葉を、子どもたちが受け止め、創造的に理解する（創発）、この一方通行のような過程が、表現に至る初動では極めて大切なのだということを、S君が教えてくれたように思います。

S君は学校の近くに自宅がありました。決して裕福なご家庭ではなかつたよう記憶していますが、感受の心はとても豊かな子どもでした。話し言葉に共感して、「心が揺れて、心が動き出す」。そんな子どもでした。

心が動き出して、それから、イメージが膨らみ始めるのです。イメージには形と色が含まれています。そのイメージが幾重に折り重なつて、やがて、表現に至ります。子どもにとつてどのような主題がふさわしいのか、四苦八苦して探索する教師が思い浮かびます。優れた語彙部のような教師の姿を思い浮かべます。

素敵な指導を受けたしかし、決して強要ではない作品が、今年も沢山集まることを期待します。

第46回 全労済 小学生
作品コンクール

お う ぱ ょ う こ う
応募要項

応募締切日
2019年1月11日(金)必着

応募資格

茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、長野、山梨、静岡の各都県にお住まいの小学生

部門

「作文」、「版画」の2部門

テーマ

◎作文：「どきどき・わくわくしたこと」
◎版画：「自由課題」

賞

●中央コンクール

最優秀賞…各部門各学年1名(賞状、副賞)
優秀賞…各部門各学年2名(賞状、副賞)

●各都県コンクール

金賞…各部門各学年1名(賞状、副賞)
銀賞…各部門各学年2名(賞状、副賞)
銅賞…各部門各学年5名(賞状、副賞)

※このほか、各都県独自賞があります。

※応募作品数などの影響により、各賞に該当する作品がない場合もあります。

審査

①各都県ごとに「都県コンクール」を行い審査します。
②「都県コンクール」で選ばれた金賞作品を「中央コンクール」で審査します。

審査員

●中央コンクール

作文の部：落合 恵子先生
(作家・子どもの本の専門店クレヨンハウス主宰)

版画の部：鈴石 弘之先生
(NPO法人市民の芸術活動推進委員会理事長)

両部門：廣田 政巳(全労済関東統括本部 統括本部長)

応募方法

次の要領で全労済各推進本部「小学生作品コンクール事務局」へ出品カードを添付してお送りください。

◎作文：400字詰原稿用紙で5枚以内。

◎版画：**木版、紙版などを問わず**、大きさはB4(257ミリ×364ミリ)以上でA2(420ミリ×594ミリ)以内。必ず台紙に貼ってください。

*作品はいずれも自作・未発表のもので、2018年4月以降に作成されたものに限ります。入賞作品の著作権は全労済に帰属します。なお、応募作品は返却いたしません。

*応募は、作文、版画それぞれ1人1点ずつまでとなります。

応募締切日

2019年1月11日(金)必着

発表

●都県コンクール 1月下旬予定
●中央コンクール 2月中旬予定

入賞者につきましては、学校および本人に通知いたします。

表彰式

中央コンクール入賞者を対象に、2019年3月3日(日)東京で行います。

応募上のご注意

- 学校・学年・クラス単位でまとめて応募してください。
- 個人での応募も可能です。
- 出品カード・出品名簿が足りない場合はコピーしてお使いください。
- 出品カードに必要事項を記入し(フリガナをお忘れなく)、しっかりのりづけしてください。(作文は最終ページ裏の右上、版画は裏の右下)
- 出品名簿には学年ごとの応募点数も記入してください。
- 入賞作品(小学校名・入賞者氏名)につきましては、全労済発行の刊行物およびホームページ等に掲載させていただきます。

作品の送付・お問い合わせは、下記の全労済「小学生作品コンクール事務局」まで

茨城推進本部 〒310-0804 水戸市白梅1-1-10

☎029-227-6684

東京推進本部 〒160-0023 新宿区西新宿7-20-8

☎03-3360-6055

栃木推進本部 〒321-0963 宇都宮市南大通り2-5-4

☎028-680-7830

神奈川推進本部 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-9

☎045-473-3400

群馬推進本部 〒371-0854 前橋市大渡町2-3-3

☎027-252-0131

長野推進本部 〒380-8710 長野市立町978-2

☎026-235-6139

埼玉推進本部 〒338-8504 さいたま市中央区下落合1050-1 ☎048-822-0648

山梨推進本部 〒400-0031 甲府市丸の内3-29-11

☎055-237-6861

千葉推進本部 〒260-0045 千葉市中央区弁天1-17-1

☎043-287-8165

静岡推進本部 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4

☎054-254-0107



第45回入賞作品

作文の部

最優秀賞

群馬県・高崎市立中川小学校・四年 小松 美羽さん

つづけていきたいこと～わたしのヘアドネーション～

つづけていきたいこと

しわたしのヘアドネーション？

高崎市立中川小学校四年 小松 美羽

「それじゃあ、切っていくよ。じゃんばは
いい？」

美よう室のお兄さんが、かがみにうつった
わたしに、かくにんするように言いました。
わたしが、小さく深こきうをして、大きくな
うなすきました。心ぞうは・ドキドキしてい
て・いすから落、こちそうでした。ジョキ、

ジョキ・ジョキン。ハサミが、わたしのたば
ねたかみをゆっくり切っていきました。わた
しは心の中で・ふう、切っちゃった……。で
も、これでいいんだ。このわたしのかみの毛
を使、た人が、笑顔になってくれるから。と
つぶやきました。

ヘアドネーションとは、病気の子のために
かみの毛をきふすることです。わたしは、七
五三をするためにずっとかみをのばしていま
した。そのあとも、長いヘアスタイルに一あ

二がれていたので、のはしつづけていました。
小学校二年生の時に、ヘアドネーションのこと
を新聞で知りました。そこには、子どもでもモ
ンターニュに使うこうがんざいには、かみの
毛がぬけてしまう副作用があります。そのため
め、かつらが必要な人がいます。きふされた
かみの毛を使つて、かつらを作ります。実は
いに・このかつらをもうつた女の子は、
まるで自分のかみのよう。早く、このかつ
らをかぶつて、お出かけしたいな。

と、書いてありました。元気いっぽい、笑顔
でお出かけしている様子が、目にうかびま
した。

わたしの長いかみには、わたしの楽しい思
い出やうれしかったことがつまっています。
このかみが、こまつている人の役に立てるの
なら、とてもうれしいです。そう思つて、ヘ
アドネーションをする決心をしました。

畢竟三十一センチメートル以上になりました。今年の五月、さわやかな風がふく日曜日の午後。予約をした美よみの室に行つて、初めてのヘアドネーションをしました。ひさしぶりの美よみの室と大好きだったロングヘアを切るるので、とてもきしむうしました。かがみの自分に、大じょうぶ、大じょうぶ。わたしのヘアドネーションで、たくさんの笑顔が広がつていくから。と、語りかけました。

かみの毛を切つた後、ショートボブになつたわたしは、につこり笑つていきました。美よみの室のお兄さんに、「広瀬すずちゃんみたいだよ」と言われ、はずかしくなつて、にやにやしてしまいました。自分でモ、びっくりするほど新しいヘアスタイルは、似合つていました。帰りに切つたかみの毛のたばを持つてきました。このかみの毛を使つた人が、「毎日笑顔になります」とおねがいしました。わたしは、心もかみも軽くなつて、ス

キツアしながら店の外に出ました。鼻歌まで歌つていました。さらさらのかみのボブを、風になびかせてわたしの心はキラキラしていました。お父さんが似合つてるよ。新しくなった美羽だね」と言つて、お店の前で写真をとつてくれました。お母さんも、「ヘアドネーション、いいことをしたね。美羽のやさしい思いが伝わるといいね」と、笑顔で言いました。

ヘアドネーションのことを、もつともつとみんなに知つてもういたいです。わたしは、これからも、できるかぎりヘアドネーションをつづけていきたいです。初めてのヘアドネーションは、とてもよい体験になりました。わたしは、だれかのために、自分ができることをしてあげたのです。これからも、ヘアドネーションや、ボランティア活動をつづけていきたいです。人の役に立てるような人になりたいです。

第45回入賞作品 作文の部 最優秀賞

2017
年度

ありがとうちょ金

大すきなピアノ

ぼくにできること

もつと友達と仲良くなる方法

茨城県・桜川市立雨引小学校一年 成田葉乃歌さん
群馬県・高崎市立堤ヶ岡小学校二年 内藤みや美さん
茨城県・つくば市立春日学園義務教育学校三年 木村 蒼太さん
静岡県・静岡サレジオ小学校五年 齊藤 優太さん
静岡県・島田市立初倉小学校六年 大池 千優さん



最優秀賞



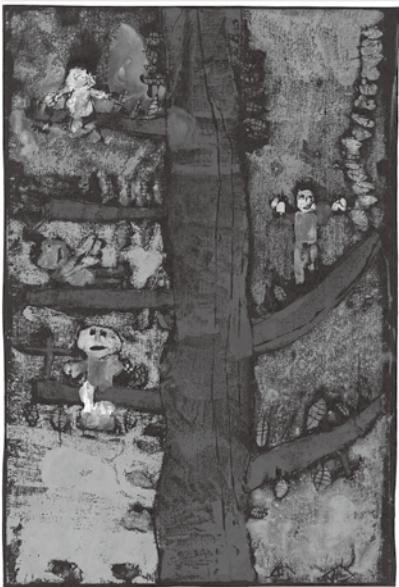
こうえんでぶらんこ

長野県・長野市立中条小学校・一年

和田 咲月さん

第45回入賞作品

版画の部



大好きだった大きな木

山梨県・甲斐市立竜王東小学校(佐野絵画教室)・三年

齊藤 輝明さん



チェロをひく

東京都・絵画造形サークル・二年

大槻 恵生さん

第45回入賞作品

(版画の部)

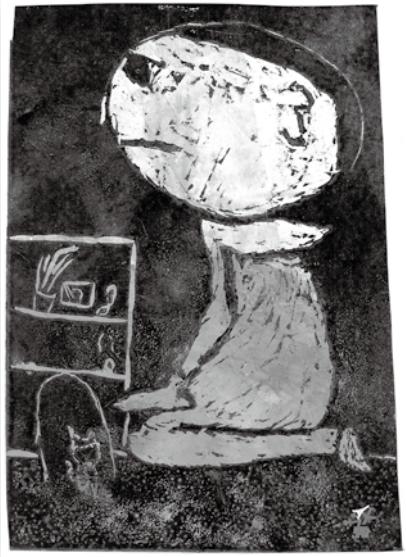
最優秀賞



高瀬！ソーラン節！

群馬県・富岡市立高瀬小学校・五年

高田 晃汰さん



おじいちゃんありがとう

埼玉県・三郷市立吹上小学校・四年

増田 爽汰さん



白熱つな引き

栃木県・真岡市立山前小学校・六年

青柳 齊来さん

第45回全労済小学生作品コンクール 応募小学校・教室一覧（順不同）

茨 城

笠間市立笠間小学校 かすみがうら市立上佐谷小学校 私立青葉台初等学部 学校法人綠丘学園水戸英宏小学校 つくば市立吉沼小学校 つくば市立茎崎第三小学校 水戸市立鯉淵小学校 水戸市立城東小学校 水戸市立堀原小学校 稲敷市立阿波小学校 茨城県立つくば特別支援学校 茨城県立水戸聾学校 茨城県立友部特別支援学校 茨城町立大戸小学校 結城市立結城西小学校 桜川市立雨引小学校 桜川市立猿田小学校 桜川市立真壁小学校 鹿嶋市立三笠小学校 取手市立高井小学校 小美玉市立玉里東小学校 小美玉市立堅倉小学校 小美玉市立上吉影小学校 小美玉市立竹原小学校 城里町立七会小学校 常総市立飯沼小学校 常陸太田市立金砂郷小学校 常陸大宮市立緒川小学校 石岡市立関川小学校 石岡市立三村小学校 石岡市立杉並小学校 石岡市立東小学校 石岡市立東成井小学校 石岡市立南小学校 石岡市立恋瀬小学校 筑西市立下館小学校 筑西市立嘉田生崎小学校 筑西市立古里小学校 筑西市立大田小学校 筑西市立長讚小学校 潮来市立延方小学校 東海村立中丸小学校 日立市立金沢小学校 日立市立成沢小学校 錆田市立旭東小学校 錆田市立新宮小学校 茨城町立葵小学校 錆田市立錆田北小学校 つくば市立春日学園義務教育学校

栃 木

宇都宮市立豊郷北小学校 宇都宮市立昭和小学校 宇都宮市立国本中央小学校 宇都宮市立瑞穂野北小学校 宇都宮市立横川西小学校 宇都宮市立雀宮南小学校 宇都宮市立瑞穂野北小学校 宇都宮市立横川東小学校 宇都宮市立篠井小学校 宇都宮市立岡本小学校 宇都宮市立田原小学校 日光市立安良沢小学校 日光市立清滝小学校 市貝町立市貝小学校 益子町立益子小学校 真岡市立物部小学校 真岡市立山前小学校 真岡市立中村南小学校 真岡市立大内中央小学校 鹿沼市立北押原小学校 鹿沼市立北小学校 鹿沼市立南摩小学校 鹿沼市立みなみ小学校 鹿沼市立清洲第二小学校 鹿沼市立永野小学校 小山市立乙女小学校 大田原市立薄葉小学校 那須塩原市立波立小学校 那須塩原市立東小学校 那須塩原市立三島小学校 佐野市立植野小学校 佐野市立城北小学校 栃木市立大宮北小学校 栃木市立大宮南小学校 栃木市立南小学校 上三川町立明治小学校 上三川町立上三川小学校 野木町立南赤塚小学校

群 馬

前橋市立桂萱小学校 前橋市立桃井小学校 前橋市立岩神小学校 高崎市立東小学校 高崎市立中川小学校 高崎市立北部小学校 高崎市立寺尾小学校 高崎市立新町第一小学校 高崎市立金古南小学校 高崎市立堤ヶ岡小学校 桐生市立梅田南小学校 伊勢崎市立豊受小学校 太田市立宝泉東小学校 太田市立旭小学校 太田市立九合小学校 太田市立南小学校 沼田市立多那小学校 富岡市立高瀬小学校 富岡市立吉田小学校 安中市立秋間小学校 東吾妻町立岩島小学校 長野原町立応桑小学校 玉村町立中央小学校

埼 玉

伊奈町立小針北小学校 神川町立神泉小学校 さいたま市立仲本小学校 生羽市立新郷第二小学校 戸田市立戸田東小学校 川越市立川越小学校 川口市立青木中央小学校 川口市立仲町小学校 東松山市立青鳥小学校 さいたま市立指扇北小学校 さいたま市立泰平小学校 本庄市立秋平小学校 三郷市立高州小学校 三郷市立新和小学校 三郷市立吹上小学校 春日部市立内牧小学校 春日部市立立野小学校 所沢市立所沢小学校 新座市立東北小学校 神川町立渡瀬小学校 川越市立高階南小学校 川越市立寺尾小学校 川越市立泉小学校 川越市立名細小学校 川口市立戸塚綾瀬小学校 川口市立芝西小学校 川口市立芝富士小学校 草加市立長栄小学校

千 葉

いすみ市立長者小学校 市原市立ちはら台桜小学校 柏市立風早北部小学校 香取市立栗源小学校 千葉日本大学第一小学校 我孫子市立我孫子第三小学校 我孫子市立湖北台東小学校 国府台女子学院小学部 四街道市立山梨小学校 市原市立海上小学校 市原市立国府小学校 市原市立市西小学校 市原市立清水谷小学校 市原市立青葉台小学校 市原市立牧園小学校 市川市立大洲小学校 酒々井町立大室台小学校 習志野市立大久保小学校 松戸市立上本郷小学校 千葉県立千葉盲学校 千葉県立千葉聾学校 袖ヶ浦市立長浦小学校 筑波大附属聴覚特別支援学校 野田市立山崎小学校 野田市立清水台小学校

東 京

足立区立千寿小学校 足立区立千寿常東小学校 足立区立東渕江小学校 足立区立平野小学校 荒川区立第二日暮里小学校 江戸川区立下郷田西小学校 江戸川区立東小岩小学校 大田区立山王小学校 大田区立洗足池小学校 大田区立多摩川小学校 大田区立矢口西小学校 絵画造形サークル 葛飾区立こすげ小学校 葛飾区立末広小学校 国立市立国立第四小学校 国本小学校 慶應義塾幼稚舎小学校 光塙女子学院初等科 江東区立第四砂町小学校 江東区立元加賀小学校 国分寺市立第五小学校 筑波大学附属小学校 小平市立小平第六小学校 品川区立御殿山小学校 品川区立伊藤学園 品川区立城南小学校 品川区立第三日野小学校 渋谷区立中幡小学校 聖德学園小学校 新宿区立市谷小学校 杉並区立浜田山小学校 杉並区立方南小学校 墨田区立第四吾嬬小学校 墨田区立中川小学校 墨田区立両国小学校 成蹊小学校台東区立谷中小学校 多摩市立諏訪小学校 中央区立有馬小学校 中央区立常盤小学校 調布市立深大寺小学校 東京学芸大学附属世田谷小学校 東京都立大塚ろう学校 永福分教室小学校 東京都立大塚ろう学校 城東分教室小学校 東京都立葛飾ろう学校小学校 東京都立鹿本学園小学校 部桐朋小学校 中野区立新井小学校 中野区立白桜小学校 練馬区立泉新小学校 練馬区立下石神井小学校 練馬区立田柄第二小学校 練馬区立立野小学校 日野市立日野第六小学校 福生市立福生第一小学校 宝仙学園小学校 瑞穂町立瑞穂第四小学校 港区立青南小学校 武蔵野市立境南小学校 武蔵野市立第四小学校 明星学園小学校 明星小学校 自黒星美學園小学校

神 奈 川

川崎市立宮前小学校 川崎市立川崎小学校 田島支援学校 桜校 川崎市立向小学校 川崎市立下沼部小学校 川崎市立大谷戸小学校 川崎市立古川小学校 川崎市立梶ヶ谷小学校 川崎市立南菅小学校 川崎市立下布田小学校 川崎市立中野島小学校 川崎市立稻田小学校 川崎市立百合丘小学校 川崎市立岡上小学校 川崎市立南野川小学校 川崎市立稗原小学校 横浜市立港北小学校 横浜市立長津田小学校 横浜市立日限山小学校 横浜市立日下小学校 横浜市立日野南小学校 大和市立縁野小学校 大和市立大和小学校 大和市立大野原小学校 愛川町立中津第二小学校 藤沢市立石川小学校 横浜市立中和田小学校 平塚市立崇善小学校 秦野市立大根小学校 秦野市立鶴巻小学校 伊勢原市立桜台小学校 秦野市立西小学校 秦野市立沢尻小学校

長 野

飯山市立木島小学校 飯山市立飯山小学校 須坂市立井上小学校 須坂市立森上小学校 飯綱町立牟礼小学校 長野市立西条小学校 長野市立川中島小学校 長野市立篠ノ井東小学校 長野市立中条小学校 上田市立丸子北小学校 上田市立長小学校 小諸市立千曲小学校 安曇野市立明北小学校 安曇野市立穗高西小学校 松本市立清水小学校 松本市立寿小学校 諏訪市立城北小学校 諏訪市立四賀小学校 伊那市立西春近北小学校 辰野町立辰野西小学校 飯島町立七久保小学校 阿南町立富草小学校 平谷村立平谷小学校 壱木村立壳木小学校 信州大学教育学部附属松本小学校 才教学園小学校

山 梨

山梨大学教育学部附属小学校 甲府市立新紺屋小学校 佐野絵画教室 私立山梨学院小学校 富士河口湖町立河口小学校 富士河口湖町立大石小学校 都留市立宝小学校 山梨市立日下部小学校 山梨県立あけぼの支援学校 上野原市立西原小学校

静 岡

菊川市立内田小学校 磐田市立田原小学校 御前崎市立第一小学校 菊川市立小笠東小学校 掛川市立中小学校 浜松市立飯田小学校 浜松市立豊西小学校 浜松市立相生小学校 静岡県立浜松特別支援学校 浜松市立芳川北小学校 浜松市立蒲小学校 島田市立初倉小学校 烧津市立焼津南小学校 静岡サレジオ小学校 静岡市立清水興津小学校 静岡市立中田小学校 静岡市立玉川小学校 静岡市立南藻科小学校 牧之原市立地頭方小学校 牧之原市立相良小学校 牧之原市立坂部小学校 静岡市立長田西小学校 静岡市立麻機小学校 静岡市立井宮北小学校 静岡市立西奈南小学校 常葉大学教育学部附属橋小学校 静岡市立伝馬町小学校 静岡市立安西小学校 伊東市立南小学校 伊東市立川奈小学校 伊東市立宇佐美小学校 伊東市立池小学校 伊東市立富戸小学校 沼津市立大平小学校 沼津市立原小学校 沼津市立開北小学校 沼津市立門池小学校 中央区立宇佐美学園

■ 第46回 出品カード

作文	題名		
版画			
学年	性別	フリガナ	
年	男・女	氏名	
自宅住所	〒 - ☎() -		
フリガナ			
小学校名 または 所属団体名	個人で応募の場合は○を つけてください （個人）		
小学校 または 所属団体 所在地	〒 -		

■ 第46回 出品カード

作文	題名		
版画			
学年	性別	フリガナ	
年	男・女	氏名	
自宅住所	〒 - ☎() -		
フリガナ			
小学校名 または 所属団体名	個人で応募の場合は○を つけてください （個人）		
小学校 または 所属団体 所在地	〒 -		

-<キリトリ線>-

-<キリトリ線>-

■ 第46回 出品カード

作文	題名		
版画			
学年	性別	フリガナ	
年	男・女	氏名	
自宅住所	〒 - ☎() -		
フリガナ			
小学校名 または 所属団体名	個人で応募の場合は○を つけてください （個人）		
小学校 または 所属団体 所在地	〒 -		

■ 第46回 出品カード

作文	題名		
版画			
学年	性別	フリガナ	
年	男・女	氏名	
自宅住所	〒 - ☎() -		
フリガナ			
小学校名 または 所属団体名	個人で応募の場合は○を つけてください （個人）		
小学校 または 所属団体 所在地	〒 -		

2018年度 第46回全労済小学生作品コンクール 出品名簿 とりまとめ用(作文)◀いすれかに○をつけてください。(版画)

都県名

小学校名または団体名称(小学校は○○市立・私立等からご記入ください。)

フリ
ガナ

小学校または
団体の住所

電話番号() -

指導された先生のお名前

学年	組	性別	氏名(フリガナも必ずご記入ください)	題名	備考		
年	組	男 ・ 女	フリ ガナ				
年	組	男 ・ 女	フリ ガナ				
年	組	男 ・ 女	フリ ガナ				
年	組	男 ・ 女	フリ ガナ				
年	組	男 ・ 女	フリ ガナ				
年	組	男 ・ 女	フリ ガナ				
年	組	男 ・ 女	フリ ガナ				
年	組	男 ・ 女	フリ ガナ				
年	組	男 ・ 女	フリ ガナ				
年	組	男 ・ 女	フリ ガナ				
応募点数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
	点	点	点	点	点	点	点

通信欄

※ご記載いただいた個人情報は、「個人情報保護法」にもとづき、その取り扱いについて充分留意するとともに、当作品コンクール以外での使用目的では、一切利用いたしません。

第45回中央コンクール表彰式を開催しました。

第45回全労済小学生作品コンクールの表彰式は、2018年3月4日(日)、東京・全労済ホール スペース・ゼロにて入賞者、ご指導いただいた先生方、ご家族など、約160名の方にお集まりいただき盛大に行われました。

晴れの舞台に緊張感ただよう中にも笑顔があふれ、入賞作文の朗読は参加者に深い感銘を与えたようです。

今回(第46回)も2019年3月3日(日)に東京で中央コンクールの表彰式を行う予定です。

子どもたちの限りない感性と夢と希望にあふれる作品をお待ちしております。



第45回 後援●茨城県教育委員会・栃木県教育委員会・群馬県教育委員会・埼玉県教育委員会・千葉県教育委員会・東京都教育委員会・神奈川県教育委員会・長野県教育委員会・山梨県教育委員会・静岡県教育委員会・(水戸放送局・宇都宮放送局・前橋放送局・さいたま放送局・千葉放送局・横浜放送局・長野放送局・甲府放送局・静岡放送局)・茨城県・茨城新聞社・茨城放送・上毛新聞社・埼玉新聞社・千葉テレビ放送・長野県・信濃毎日新聞社・SBC 信越放送・NBS 長野放送・TSB テレビ信州・abn長野朝日放送・山梨日日新聞社・山梨放送・静岡新聞社・静岡放送・テレビ静岡

これまでの作品テーマ

●1973年 第1回	。火事	(作文のみ)	●1993年 第21回	。交通の発達とわたしたちの暮らし	(作文)
●1974年 第2回	。はたらく人	(作文・版画)	●1994年 第22回	。わたしたちの大好きな友だち	(作文)
●1975年 第3回	。たすけあい	(作文・版画)	●1995年 第23回	。わたしの大好きなこと・大好きなもの	(作文)
●1976年 第4回	。仲間	(作文・版画)	●1996年 第24回	。ぼくの・わたしの通学路	(作文)
●1977年 第5回	。いのちをたいせつにする	(作文・版画)	●1997年 第25回	。ぼくの夢・わたしの夢	(作文)
●1978年 第6回	。遊ぶ	(作文・版画)	●1998年 第26回	。ぼくの家族・わたしの家族	(作文)
●1979年 第7回	。私の家族	(作文・版画)	●1999年 第27回	。たのしいこと・うれしいこと	(作文)
●1980年 第8回	。ぼくの失敗、わたしの失敗 。育てる	(作文) (版画)	●2000年 第28回	。失敗したこと・うまくいったこと	(作文)
●1981年 第9回	。夢中になってつくる 。力をあわせる	(作文) (版画)	●2001年 第29回	。不思議なこと・わからないこと	(作文)
●1982年 第10回	。心を強くうたれたこと 。働く	(作文) (版画)	●2002年 第30回	。好きなこと・やりたいこと	(作文)
●1983年 第11回	。父母(祖父母)と戦争 。元気に遊ぶ	(作文) (版画)	●2003年 第31回	。ぼくのゆめ・わたしのゆめ	(作文)
●1984年 第12回	。自然とともに 。道具をつかう	(作文) (版画)	●2004年 第32回	。ぼくの・わたしの宝もの	(作文)
●1985年 第13回	。助けたこと、助けられたこと 。なかよしと	(作文) (版画)	●2005年 第33回	。ぼくの・わたしの大好きなひと	(作文)
●1986年 第14回	。私のまち・むらのくらし	(作文・版画)	●2006年 第34回	。ぼくから・わたしからの『ありがとう』	(作文)
●1987年 第15回	。おまつり	(作文・版画)	●2007年 第35回	。未来のぼく・わたしへ	(作文)
●1988年 第16回	。くるまとわたしたちの生活	(作文・版画)	●2008年 第36回	。ぼくが・わたしが『できること』	(作文)
●1989年 第17回	。動物とわたし	(作文)	●2009年 第37回	。ぼくの・わたしの『将来のゆめ』	(作文)
●1990年 第18回	。ぼく(わたし)の夢～大人になったら～	(作文)	●2010年 第38回	。だいすきなもの	(作文)
●1991年 第19回	。たいせつなもの～自然や環境をどのようにして守るか～	(作文)	●2011年 第39回	。たのしかったおもいで	(作文)
●1992年 第20回	。私と家族	(作文)	●2012年 第40回	。たすけあい	(作文)
			●2013年 第41回	。もしも1つだけ願いがかなうなら	(作文)
			●2014年 第42回	。ぼくの・わたしのたからもの	(作文)
			●2015年 第43回	。ぼくの・わたしの未来～こんなおとなになりたいな～	(作文)
			●2016年 第44回	。わすれられないこと	(作文)
			●2017年 第45回	。つづけていきたいこと	(作文)

※第17回以降、版画は自由課題

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保険の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。